

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人ヤマト自立センターは、障がい者の自立と社会参加を目的に令和 7 年度事業計画に基づき、スワン工舎として就労移行支援事業ならびに就労定着支援事業と就業・生活支援センターで連携して就労支援を推進いたしました。

1. 本部活動

〔1〕 令和 7 年 5 月 7 日（水） 評議員選任・解任委員会開催 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

第 1 号議案 評議員選任の件〔岡村評議員〕

〔2〕 令和 7 年 5 月 27 日（火） 第 1 回 理事会開催

〔決議事項〕

第 1 号議案 第 20 期（令和 6 年度）事業報告承認の件

第 2 号議案 第 20 期（令和 6 年度）計算書類等承認の件

第 3 号議案 役員（理事・監事）候補者選定の件

第 4 号議案 「育児・介護休業規程」改訂の件

第 5 号議案 定時評議員会の招集の件

〔報告事項〕

① 社会福祉充実計画策定について（非該当）

② 新座市通報事案の状況報告について

③ 増改築工事のスケジュールについて

〔3〕 令和 7 年 6 月 12 日（金） 定時評議員会開催

〔決議事項〕

第 1 号議案 令和 6 年度 決算報告書（計算書類等）承認の件

第 2 号議案 役員（理事・監事）選任の件

〔報告事項〕

① 第 20 期（令和 6 年度）事業報告の件

② 第 20 期（令和 6 年度）社会福祉充実計画策定（非該当）について

③ 評議員選任について

④ 新座市役所通報事案について

⑤ スワン工舎新座の増改築について

〔4〕 令和 7 年 6 月 12 日（金） 第 2 回 理事会開催 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

議案 理事長および業務執行理事選定の件

〔5〕 令和 7 年 7 月 29 日（火） 第 3 回 理事会開催 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

議案 スワン工舎新座 増改築工事に関する業者との契約締結の件

〔6〕 令和 7 年 8 月 28 日（木） 第 4 回 理事会開催

〔決議事項〕

第 1 号議案 スワン工舎新座 増改築工事費用 修繕費積立資産 取崩しの件

第 2 号議案 苦情解決第三者委員退任に伴う後任者選任の件

第 3 号議案 「育児・介護休業規程」改訂の件

〔報告事項〕

議案 新座市通報事案の状況報告について

〔7〕 令和 7 年 10 月 1 日（水） 第 5 回 理事会開催 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

第 1 号議案 スワン工舎新座 増改築工事 追加費用承認の件

第 2 号議案 運営規程・経理規程 改訂の件

〔8〕 令和 7 年 11 月 21 日（金） 第 6 回 理事会開催

〔決議事項〕

・就労選択支援サービス 事業者登録の件

〔報告事項〕

① 上期事業報告について

② 新座市通報事案の状況報告について

〔討議事項〕

・就労支援事業（パン・クリーニング）に対する課題について

〔9〕 令和 8 年 2 月 2 日（月） 第 7 回 理事会開催 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

・定款変更の件 （増築による建物 2 階床面積の変更）

〔報告事項〕

・埼玉県福祉部による運営指導監査の結果について

〔10〕 令和 8 年 2 月 10 日（火） 第 2 回 評議員会 （書面：決議の省略）

〔決議事項〕

・定款変更の件 （増築による建物 2 階床面積の変更）

〔11〕 令和 8 年 3 月 26 日（木） 第 8 回 理事会開催

〔決議事項〕

第 1 号議案 新中期経営計画ならびに第 22 期（令和 8 年度）事業計画の件

第 2 号議案 第 22 期（令和 8 年度）資金収支予算ならびに事業活動収支予算の件

第 3 号議案 役員等賠償責任保険契約の件

〔報告事項〕

- ・新座市通報事案の状況報告について

〔12〕 令和 8 年 4 月 7 日（火） 第 3 回 評議員会開催 （書面：報告の省略）

〔報告事項〕

第 1 号議案 新中期経営計画ならびに令和 8 年度事業計画の件

第 2 号議案 令和 8 年度資金収支予算および事業活動予算の件

2. 施設活動

（1）法人全体研修と虐待防止研修

①法人全体研修

職員全員に対し、理念の共有を図るために、理念研修を上期・下期の 2 回実施。

上期は正しい個別支援計画作成に必要なアセスメント力を高める為、職員同士で議論し全員でアセスメントの重要性を再確認した。下期は新しい中期経営計画についてチーム毎に話し合い、チーム目標と個人目標を作成し目標を共有した。理念の浸透を推進することにより、職員自身の仕事の意義や目的についての意識付けを図った。

②虐待防止研修

外部講師による研修を 2 月に実施。講義だけでなく、討議の時間を持つことで、自身の日々の行動が適切な支援になっているか、の振り返りを行った。また、月 1 回の「虐待防止勉強会」にて 1 テーマを取り上げ、議論を行いながら意識向上を図った。

（2）見学会の開催

特別支援学校を対象に見学会を開催した。参加者は新座 3 8 名・羽田 4 8 名の合計 8 6 名（前年 8 4 名）で、主に 1、2 年生であったが、継続開催することでスワン工舎の認知度向上や利用者確保につながる可能性が大きく、今後も見学会をブラッシュアップしながら継続開催していく。

（3）ナカポツとの連携

新座では、就労支援活動において、就業・生活支援センターとの連携による相乗効果を図った。利用者へ MWS（幕張ワークサンプル）を毎週木曜日に実施。ナカポツの知見を活かす取組を実施した。

（4）利用者ミーティングの開催

新座、羽田共に利用者ミーティングを月に 1 度開催。利用者全員で会社見学や実習の共有、新しい訓練プログラムの提案、施設や職員への要望等を出してもらい、訓練の環境を改善し利用者満足の向上に努めた。

（5）職場改善ミーティングの開催

職場改善ミーティングを毎月開催（オンライン）し、職場代表、各リーダー参加のもと労働時間や施設の問題点、利用者の要望を討議し職場環境の改善を図った。虐待防

止委員会、安全衛生委員会も併せて開催、職員全員が参加し事例研究やヒヤリハットの共有等を通じて、安全面の意識の高揚を図った。

3. 施設体制

〔新座〕 R7/4/1 現在 R8/3/末現在

項 目	期 首	期 末	差	適 用
利用者(人)	16	11	-5	入 6 名、退 11 名
登録者(人)	614	659	+45	就業・生活支援センター
職員(人)	19	17	-2	羽田へ異動、死亡退職
車両(台)	5	5	±0	移行 3 台、センター 2 台

〔羽田〕

項 目	期 首	期 末	差	適 用
利用者(人)	14	9	-5	入 3 名、退 8 名
職員(人)	6	7	+1	新座より異動
車両(台)	1	1	±0	

4. 補助金、助成金、寄付金の状況

種 別	拠出先・寄付者	金 額 (円)	使 途
補助金	新座市役所	326,500	障害者施設体制強化費
補助金	大田区役所	7,590,050	障害者日中活動系推進費等
助成金	ヤマト福祉財団	4,000,000	運営費他
助成金	ヤマト福祉財団	563,960	卒業者の集い
計		12,480,510	
種 別	寄付者	金 額 (円)	使 途
寄附金	ヤマト福祉財団 (カレンダー売上金)	480,423	運営費等
計		480,423	

5. 事業活動報告

(1) 移行支援事業

① サービス内容

i 利用者のニーズに合った個別支援計画を策定し、四半期毎に目標の達成進捗を確認、計画の見直しを行った。職員全員の多角的視点でアセスメントし、利用者を真ん中にした効果的な支援を推進した。

ii ハローワークへの求職登録、地元就労支援センターへの登録、また関係機関との連携等を行った。

iii 医療機関との連携で、心身の健康に関する助言を受けた。新座市中村歯科医院、大田区蒲田歯科医師会による歯科検診、歯磨き指導を実施。また定期健康診断やインフルエンザ予防接種、毎月の検便の実施等、予防対策を実施し日常の健康維持に努めた。

iv 保護者との「連絡帳」による日常連絡や保護者面談等での意見交換を通じて相互の信頼関係向上に努めた。また、保護者参観を実施。利用者本人の普段の様子を保護者に見てもらい、保護者と職員との懇親の機会を持った。(新座2名、羽田7名)

v 施設外(日帰り)研修は、公共交通機関の使用やレストランで食事のマナー等、社会のルールを学ぶ事を目的として、しびらきファームにていちご狩りを実施(新座利用者8名、羽田利用者9名)。施設内においてはクリスマス会を開催した。

vi 新座市地域自立支援協議会、埼玉県立学校運営協議会、大田区就労促進担当者会議、大田区就労移行支援事業所連絡会にメンバーとして活動した。

【就労実績 14 名 (目標 14 名)】

NO	就労日	就労先	施設	NO	就労日	就労先	
1	04. 01	東京エレクトロン(株)	新座	⑪	10. 20	イムス富士見病院	新座
②	04. 01	(株)星野リゾート・ワクワクシステムズ	羽田	12	10. 21	(株)まつの	羽田
3	04. 07	(株)ヤオコー・ワカバウォーク店	新座	⑬	12. 01	社福) わか竹会 わかたけ元町保育園	新座
4	06. 17	ファッションセンターしまむら	新座	14	01. 01	(株)メトロフルール	羽田
⑤	07. 01	(株)アーク	新座				
⑥	07. 01	(株)ソラストフォルテ	羽田				
7	07. 01	ファースト・ファシリティーズ・チャレンジド(株)	羽田				
⑧	07. 22	(株)F&LC サポート	羽田				
⑨	08. 18	(株)まつの	羽田				
10	09. 17	協栄流通㈱	新座				

※No が新規就労先

※累計就労者数 281 名

② 事業活動内容

i 新座

<パン事業>

新規取引先として角川クラフト様、西東京市谷戸第二学童様、朝霞警察様、

I LOVE 新座フェス様を獲得した。

<ランドリー事業>

ヤマト運輸の旧制服や防寒服、親睦会のはっぴやユニフォーム、館内物流用制服等を中心に行った。

<オフィスクリーニング業務>

ヤマト運輸(株)武蔵野主管支店の応接室、会議室、食堂の清掃業務を定期的に（週3回）実施した。

また、業務委託契約の交渉を開始し、施設外就労への進展を図った。

ii 羽田

<ランドリー業務>

(株)スワンと連携して、シューズ、ヘルメットの安定的な業務量を確保している。またヤマト運輸との協業案件である本郷学園、立教新座のリユース制服のクリーニングを実施した。他、ヤマトグループからの衣類のランドリー依頼が増加し、様々な仕様に対応できるような治具の製作も行った。

iii 共通

<ビジネスマナー研修>

就労に必要な知識の習得を目指し、履歴書作成・面接練習・個別学習（漢字や計算練習）・ビジネスマナー（電車やバスのマナーについて・言われてうれしい言葉、嫌な言葉）等を実施した。

<自己理解を進める研修>

「マイノート」作成や、「得意不得意を知る」研修を通じ、自己理解を促進し、就労活動時に「合理的配慮」を必要とするか等を知る機会を増やした。

③ 事業収支状況（ベーカリー・ランドリー・オフィスクリーニング）

事業収入は2施設合計で3,764万円、計画比92%、327万円の未達となるものの、経費は計画比90.5%と399万円を圧縮した結果、事業収支の実績は▲20万円となり、計画より71万円上回った。尚、前年との比較においては、収入が前年比105.5%、198万円の増収となり、経費は前年比84.5%、694万円の圧縮をした結果、事業収支も892万円の改善となった。

（単位：千円）

	収入				支出				収支差額		
	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画差
新座	29,409	24,334	82.7	▲ 5,075	31,830	27,524	86.5	▲ 4,306	▲ 2,421	▲ 3,190	▲ 769
羽田	11,508	13,308	115.6	1,800	10,006	10,321	103.1	315	1,502	2,987	1,485
法人計	40,917	37,642	92.0	▲ 3,275	41,836	37,845	90.5	▲ 3,991	▲ 919	▲ 203	716

④ 工賃支給額

作業時間を基本に作業内容を勘案し、月間平均工賃13,258円（新座10,100円 羽田16,417円）を支給した。

※羽田は、東京都より交通費の補助あり

⑤ 自立支援給付費収益実績

訓練給付金は 4,872 万円、計画比 82.2% 1,056 万円の未達であり、前年に対しても、前年比 77.1%、1,449 万円の減収となった。また、定着支援給付金は 1,286 万円、計画比 101.6% と計画より 20 万円の増収であったものの、前年に対しては、前年比 92.5%、104 万円の減収となった。

(単位：千円)

	訓練給付金				定着支援給付金				収入合計		
	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画比	計画差	計画	実績	計画差
新座	32,001	24,821	77.6	▲ 7180	7,438	7,276	97.8	▲ 162	39,439	32,097	▲ 7,342
羽田	27,280	23,899	87.6	▲ 3381	5,217	5,587	107.1	370	32,497	29,486	▲ 3011
法人計	59,281	48,720	82.2	▲ 10,561	12,655	12,863	101.6	208	71,936	61,583	▲ 10,353

※計画未達の理由は、早期の就職先決定と、期間途中での離脱により、2 年間の在籍期間を大幅に欠ける利用者が発生

(2) 就労定着支援事業

① サービス内容

利用者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等の連絡調整やそれに伴い問題解決に向けて必要となる助言等の支援を行った。

② 事業活動内容

利用者に来所してもらい、職員との面談や利用者同士の意見交換会、また羽田ではスワン工舎在籍利用者に対して経験談を含めたアドバイスを送るなど、年代を超えたつながりを持った。

【利用契約者実績】

施 設	今 期 (新規)	累計 (平成 30 年 10 月～)
新 座	10	86
羽 田	7	42
計	17	128

(3) 就業・生活支援センター

① サービス内容

一般企業で働きたい障がいのある方や、障がい者の雇用に取り組んでいる、またはこれから取り組みたい企業への相談・支援を行った。

② 事業活動内容

i. 関係機関との情報交換会を開催した。(南西部情報交換会)

開催回数 3 回 参加延べ人数 73 名

ii. 登録者との交流会を開催した。(熱中症対策勉強会、インフルエンザ勉強会、調理実習)

開催回数 3 回 参加延べ人数 41 名

- iii. 彩ジョブ「お仕事発見の場創り」をプレ開催した。埼玉県でお仕事を探す障がい者の方が、知って「できるだけ多くのしごとの情報にふれる」、体験して「おしごとを具体的にイメージする」、選択肢を増やす「知って、体験して自分で選ぶ」事を目的としたイベントで、6企業、1福祉施設の職業体験、おしごとなんでも相談コーナーを設け、82名が来場され、障がい者の就労に繋げるきっかけとなるイベントとなった。

【ナカポツ登録者、実習者、就業者の実績】

	計画目標	実績	計画差
登録者	59	45	-14
就業者	25	54	+29
実習件数	35	34	-1

6. 職員の育成

- (1) 朝礼、夕礼、チームミーティング、ケース会議等を通して全員で利用者の情報を共有する事により、サービスの質の向上を図る取り組みを実施した。
- (2) 利用者に就労の意識付けを行う為、利用期間2年間の標準プログラムを策定した。これに基づき、一人ひとりの希望に添った個人別支援プログラム（年間計画）を提示し、個別支援計画と連動した支援を推進した。
- (3) 職員の就労支援技術の向上、特にアセスメント力を高めるため、職員研修等へ積極的に参加し、スキルアップを推進した。
 - ①法人内研修
 - 法人全体理念研修（正職員） 2回実施
 - 虐待防止研修（正職員） 1回実施
 - 虐待防止勉強会 12回実施
 - ②法人外研修
 - ハラスメント研修、チームリーダー研修、生活保護制度研修
 - 労務管理担当者研修、チームビルディング研修
 - クレーム対応研修、障がい者の就労支援に必要な基礎的知識研修、スーパービジョン研修、虐待防止権利擁護研修（管理者向け）

7. 実習生受入

- (1) 通所希望者 34名（各支援学校生徒22名、在宅12名）
- (2) その他 11名
 - B型アセスメント1名、体験実習（教師3名、中学生7名）

8. その他

- (1) スワン工舎新座 増改築工事

ヤマトホールディングス㈱からの寄附金を受領したことにより、職場環境の改善を目的に、増改築工事を実施する。（8月1日工事開始、12月23日完成引渡し）
増築は、1階駐車場部をピロティ構造とし、2階のフロアを43.68㎡増床する。職員の休憩および利用者との面談のスペースとして2部屋増設する。

老朽化に対する改築は、空調、換気扇の改修、水栓の自動水栓化、天井や壁紙のクロス張替え、照明器具のLED交換等を施行。

完成後、3月26日開催の第8回理事会をスワン工舎新座で開催。利用者の訓練と併せ、施設の見学会を実施。

(2) 地域・ヤマトグループとの交流

- ① 「こども食堂」(NPO 法人 新座子育てネットワーク) へのパンの寄付
- ② 日帰り研修として、公共交通機関を使い、さいたま市「しびらきファーム」にて「いちご狩り」を実施。
- ③ 地域で行われたバザー等のイベントへパンの販売で参加
- ④ ヤマトグループ親交会(ボーリング大会)への参加
ヤマトグループ内の東京地域で仕事をしている障がい者の方が参加するイベント
- ⑤ 羽田クロノゲート夏祭りに参加

(3) 卒業者のネットワーク構築

- ① 第18回卒業者の集いは4月に開催し、卒業者77名、保護者9名が参加した。

- ② 定着支援も兼ねて定期的に卒業者との交流会を開催した。

開催回数・参加延べ人数

新座	開催回数 12 回	参加延べ人数	218 名
羽田	開催回数 12 回	参加延べ人数	115 名

(4) 相談支援窓口

ヤマトグループの「全国障がい者福祉担当者会議」に年4回参加し、雇用の現場でおきている困りごとや、障がい者雇用についての疑問に対して、専門的なアドバイスを行った。

以 上